

# 劔岳・チンネ左稜線山行報告



【日程】2018年7月16日(月・祝)～19日(木)

【メンバー】CL 平野 会員外 M 山本(記録)

アルパイン練習を始めた時からずっと目標にしていた憧れのチンネ左稜線。

クライミング力だけでなく、ルートファインディング、スピード、体力など総合力が試されるルートだ。

今年は記録的猛暑の影響で、本来アプローチに使う長次郎谷の雪渓は右俣・左俣ともクラックが入ってしまい通行禁止に。

そのため、劔岳頂上往復を含む超ハードコースでの計画となったが、天気を味方につけて、身も心も(疲労も…)大充実の山行になった。女子3人、黒焦げになりながら頑張ってきました。

## ●7月16日(月・祝) 千葉～雷鳥平 晴れ時々曇り

船橋発7時、山本の犬ヤサオを塩尻の実家に預けてから扇沢へむかった。

三連休最終日なので下りは空いていた。

扇沢発14時のトロリーバスに乗り、いくつもの乗り物を乗り継いで室堂に15時半に着いた。遠いし高い…往復券を購入したが9050円!!

雷鳥沢キャンプ場16時20分着。テントを設営し、早速ビールを飲みながら明日の予定の確認をする。夕日もキレイだし、明日も晴れそうだ。

雷鳥平は冷気がたまるのか日が沈むにつれて寒くなり、ダウンを羽織って、20時就寝。



●7月17日（火）雷鳥平～劔岳手前ビバーク地 快晴

4時半起床、各自朝食を済ませて6時15分出発。劔山荘9時小休憩、前劔頂上10時45分。テント泊装備での急登は、汗が吹き出し、息も上がる。行先は三の窓雪溪…気が遠くなる。先に進むと本峰手前のカニのタテバイ・ヨコバイ直下にいいビバーク場所を発見。ここを起点にチンネへ向かえば、重荷を背負わずに劔岳頂上往復と、北方稜線の悪名高い池ノ谷ガリーをクリアできると考え、2日目は12時に行動を終えた。

時間はたっぷりあったので、のんびり水作りをしたり、雪溪で冷やしたビールを楽しんだり。キンキンに冷えたビールがあまりにもおいしくて、もっと担いで来ればよかったと後悔。けど軽量化を考えてのこと。しょうがない。

美しい夕日と満点の星空を貸切でき、雪溪の美味しい水あり、トイレありの最高のビバーク場所だった。（靈感のある人には厳しいかも…）19時就寝。





●7月18日（水）～劔岳山頂～三の窓～チンネ左稜線登攀～劔岳山頂～ビバーク地 快晴  
2時起床。朝食・準備を済ませ明るくなるのを待ち、4時20分出発。  
この日の行動予定はチンネ登攀を終えてテント場まで戻り、撤収し劔沢小屋まで下りる予定。しかし14時間行動の末、同じ地点でのビバークとなった。







初めての劔岳山頂 4 時 45 分、行先はチンネなので感動に浸る余裕はなく、すぐに出発。池ノ谷ガリー懸垂点 7 時、三の窓雪渓 8 時、登攀開始 9 時。

チンネ左稜線取付きまで 4 時間半、劔岳山頂から先の北方稜線は噂通りの悪路だった。ルートファインディングしながら、ロープなしのクライミングをし、ガレ・ザレ場の通過で集中力と体力を消耗し、三の窓雪渓でヒヤヒヤし…全ての荷物を背負って三の窓のビバーク地に行くのは大変な事だと感じた。



体力消耗をしていたが憧れのチンネ左稜線を目の前にし、嬉しさと緊張で疲れが吹き飛んだ。本日左稜線は貸切！

3 人パーティーの場合、リードを交代するのにロープ末端の受け渡しがある。時間の節約のため、数ピッチ登ったら交代にした。

#### 【1P～5P 平野 CL リード】

1P 目 IV 級、しょっぱなから壁がたっててシビれる。2P 目リッジ～フェース、リードの

CLから「This is alpine!!□」の声が聞こえる。振り返れば絶景の中、たってる壁を攀じる。これがアルパインかぁ…緊張と興奮でたまらない。登ってみれば手がかり豊富だが、それも気楽なフォローでの話。

残置支点は潰れたものが結構あり、細めのスリングでも通らない所があるが、カムは無くても大丈夫。使えば練習になりそう。

5P目～Mさんの予定だったが、そのままCLにリードで行ってもらう。

出だしステミングを決めて少し上がった後、右のフェースに移るムーブ～たってるフェースが楽しい！



#### 【6P～9P Mさんリード】

水平リッジ～ピナクルが林立する高度感が楽しめるピッチ。しかしもろに太陽光と岩からの反射熱に照らされつづけて、ビレイ中は暑くてたまらない…けれどこれも天気にも恵まれた証拠。素晴らしい景色の中で気持ちの良いクライミングが楽しめた。

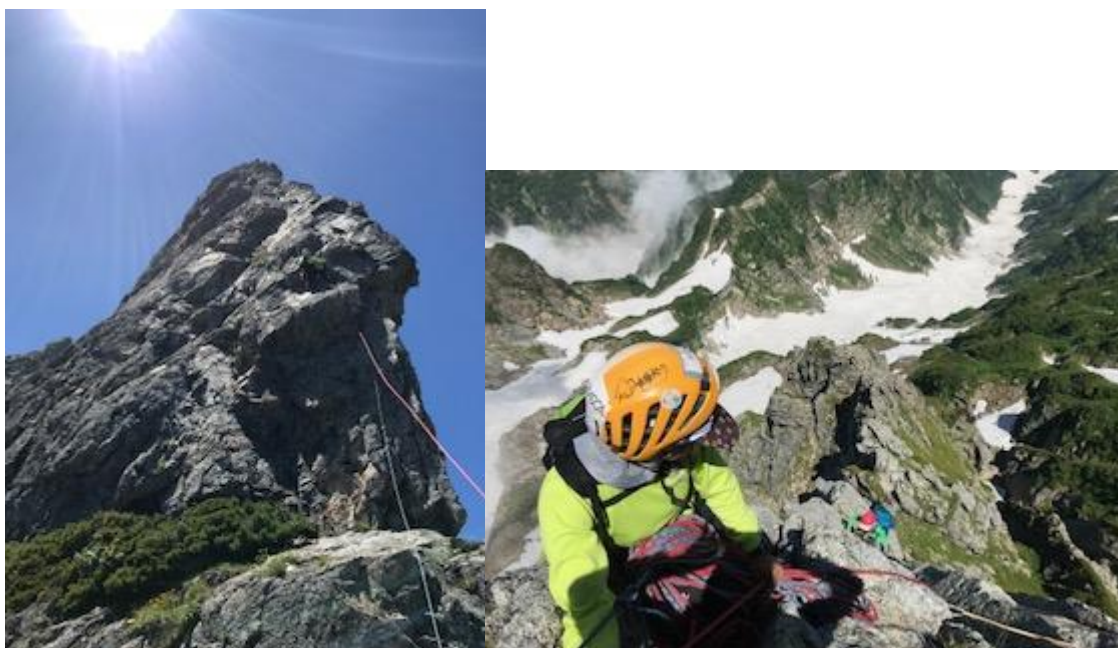


#### 【10P～15P 核心部平野 CL・残り山本リード】

ピッチの調整をしたので、13Pのところ実質15Pほどになった。

核心部チンネの鼻はリードをしたいと思っていたが、高度感に負けて平野CLをお願いした。

CLは慎重かつ丁寧な、お手本のような登りでスムーズにハングを超えていった。フォローで登ってみると核心はハング越えではなく、その手前のリッジに立ち込む時の高度感だと感じた。まだ私には高度感を楽しむ覚悟が足りないみたい。またここへ来るきっかけができた。次こそはリードを楽しみたい。チンネの頭まで高度感が楽しめるリッジ～フェースのやさしいピッチだった。



時間が押していたためチンネの頭でササっと 25m の懸垂準備に入り、池の谷ガリー懸垂点へ降りた。この時点で 15 時半、剣沢小屋まで降りるのは厳しいとは分かっているけど、頭の中では小屋でビールを飲みたいという一心で、黙々と歩きだす。水が足りず、途中の雪渓で取った雪を溶かしながら飲み水に変え、17 時 15 分ようやく劔岳山頂まで戻ってきた。棒のような足でカニのヨコバイを慎重に下り、17 時 45 分、ようやくビバーク場所まで戻ってきた。ここでようやく、やりきった充実感でいっぱいになり、3 人で握手を交わした。この日はのんびり夕日を眺め、満点の星空を見ながら過ごし、あるだけのおつまみと、少しの焼酎を 3 人で分け合ってやり切った感をかみしめた。





●7月19日（木）～室堂～大町温泉郷～帰葉

疲れているし、自然に目が覚めたら起きようと考えていたが、通行する人の足音で目が覚めた。ビバーク場所が意外と人通りのある場所だったことにこの時初めて気づいた。

6時に起床、のんびり帰り支度をして、8時出発。今日も暑い！

花畑で写真を撮ったり、有名ガイドの男性と写真撮影をして寄り道しながら室堂へむかった。それにしても長い道のりを歩いたものだ。余裕があれば雄山などを回って帰りたいなどと話していたが、即却下となった。暑くて倒れそう。



雷鳥平 13 時 15 分、黒部ダムでダムカレーを食べることを楽しみに黒部ダムへ向かったが、タッチの差で 15 時に閉店してしまっていた。

16 時 40 分、しぶしぶ扇沢駐車場まで戻り、大町温泉郷【薬師の湯】で汗を流し、山本は実家で一泊させてもらうことにし、平野さんと Mさんは帰葉された。

### ●チンネ左稜線を終えて

チンネ登攀はいろんな意味で楽しく充実した山行だった。

アプローチ核心と言われているロングルートのチンネは確かに遠かったが、絶景の中で癒しの登攀あり、緊張感ありの最高のルートだった。

平野さんにアルパインを習い始めて 1 年 4 か月、はじめは 8 の字結びすら危うかったけれど、成長したねと言ってもらえたことがとても嬉しかった。

まだまだ足りないことだらけだが、チンネでまた少し成長できた気がした。

平野さん、ありがとうございました！！